4．保育内容

遊びに入れない子どもや、全体の様子に気を配っている。	◎
子どもが伸び伸びと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	◎
遊びを通して、友だちや保育士との関りが十分持てるよう配慮している。	◎
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている。	◎
身近な自然や社会と関われるような取り組みをしている。	◎
園の行事や保育の内容を伝えている。	◎
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握している。	◎

5．保育環境

園内外が清潔で心地良い空間となっている。	◎
年齢に応じた保育が提供できるような環境である。	◎
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気おもちゃを工夫している。	○

6．保護者支援　・　地域社会

意見や要望などへの対応ができている。	◎
職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	◎
家庭との連携を図るように努めている。	◎
関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	◎

7．安全　・　健康

保育中の体調への気配りやケガ等について配慮している。	◎
感染症の発生状況や注意事項等を知らせている。	◎
子どもの成長を把握している。	◎
火災・地震・不審者・交通安全等危機管理に努めている。	◎
職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している。	◎

8．給食

給食が楽しく食べられるように工夫されている。	◎
食育を通して子どもたちが食に興味が持てるようにしている。	◎
子どものサインを見逃さないようにしている。	◎